



地域を訪ねて～愛知環状鉄道【愛知県】～

愛知県中央部 4 市を結ぶ、通勤・通学客輸送で活気あふれる都市間鉄道

都市間輸送を主とする愛知環状鉄道。

岡崎市・豊田市・瀬戸市・春日井市を結び、多くの通勤・通学客の重要な足となっている。

愛知県も舞台となる 2023 年 NHK 大河ドラマ「どうする家康」の放映もあり、利用客の掘り起こしにも注力している。

文・写真：高瀬文人（ジャーナリスト）



永覚・末野原間を走行する 2000 系電車



矢作川橋りょうを渡る 2000 系電車

対応すべく、JRTT によって 2008 年に複線化された。岡崎・高蔵寺間を走る列車の間に、新豊田・三河豊田間のシャトル列車が挿入され、7 時半からのピーク時には 1 時間に 8 本もの列車が走っている。

通勤・通学客の利便性を向上

愛知環状鉄道（愛環）の前身となる国鉄岡多線は、1976 年に部分開業したが、延伸線を建設中に国鉄の経営危機に見舞われた。そこで 1988 年に愛知県と岡崎市・豊田市・瀬戸市・春日井市の 4 市を主体に、第三セクターとして再出発した。「その意味でも地域の足という役割をしっかりと果たせる経営の持続が使命で

平田雅也社長



す」。平田雅也代表取締役社長はこう語る。愛環の特徴は都市間輸送だ。岡崎・高蔵寺間を結ん

で開業当初から計画を上回り、累積赤字を 5 年で解消させた。その後、JRTT によって沿線開発の進展に伴う所要時間短縮等、旅客の利便性向上を図る輸送力増強整備事業工事が行われた。また、「2005 年日本国際博覧会（愛知万博）」のための国際博覧会対応施設整備工事が八草駅（当時は「万博八草駅」）を拠点に行われ、名古屋駅からの直通列車が多数運転され



中水野・高蔵寺間の市街地を走行する電車



沿線で花火大会が開催される際には臨時ダイヤが運行される

愛知環状鉄道株式会社

- 設立 1986 年 9 月 19 日
- 区間 岡崎・高蔵寺間 45.3km
- <https://www.aikanrailway.co.jp/>

部分複線化で朝の高頻度運転を実現

朝 7 時半、愛知環状鉄道の新豊田駅のペDESTリアンデッキには、名古屋鉄道三河線と豊田線が乗り入れる豊田市駅から乗り換える人の流れが続く。デッキから直接上りホームに行ける自動改札専用口を通して、次々と 4 両編成の乗車位置に並んでいく。

岡崎行き 4 両の電車が発車するとすぐに反対側の下り線にヘッドライトが輝く。2 両の「あさシャトル」だ。電車は他の線路に移動するための「渡り線」を利用して上りホームに直接入線し、折り返し

三河豊田行きとなる。7～9 分間隔で 4 両、2 両編成が交互に発車するが、通勤客は慣れた様子でそれぞれの乗車位置に並び、整然と車内に吸い込まれていく。

新豊田・三河豊田間は通勤客の増加に

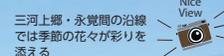


朝のラッシュ時に新豊田駅に入線する「あさシャトル」。三河豊田駅までを複線化し、大都市通勤鉄道並みの高頻度運転を実現している

愛知環状鉄道路線図



八草駅の外観。愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）の乗換駅になっている





八幡駅のリモ乗り換え通路に続く階段にはイラストが描かれている

の大輸送も実現させた。

片側3扉に固定セミクロスシートを備える2000系電車は保線の行き届いた線路を最高時速110kmで走る。沿線には多くの大学・高校が集まっていて、朝から夕方にかけて通学する学生の姿が多数見られる。

同社が交通系ICカードを導入したのは2019年と新しい。比較的規模の小さい駅のホームには簡易改札機が設けられ、車掌はホーム上で乗車券の集札に加えて乗客のタッチを確認する。また、通勤・通学時間帯以外を無人としており、運賃の精算対応も車掌が行っている。

利用客の掘り起こし

「第三セクターの優等生」と言われる同社だが、コロナ禍が経営に大きな打撃を与えている。「令和4年度、利用客数は前年度比約9%の増加がありましたが、コロナ禍前に比べると約79%の回復に過ぎません。特に通勤利用の戻りが鈍く、これはリモートワークの定着が影響していると思われます」（平田社長）

そこで、現在力を入れているのが観光振興だ。愛環沿線の名所や文化・観光施設などを巡って沿線の魅力に触れていただくため、沿線を散策する、「愛環沿線ウォーキング」を通年で開催している。これは全4コースを踏破し、ゴール証明済の全コースマップを提示した方には景品を進呈するというもの。さらに土日限定のフリー乗車券「土日に乗ろうのり1dayパス」の発売など、通勤・通学客以外の沿線住民への定着も図っている。

親しまれる鉄道を目指す

同社では以前より地域に親しまれる鉄道を目指しており、近年ではラッピングトレインが利用客を楽しませている。現在は愛知万博が行われた「愛・地球博記念公園」



ジブリパークへの乗換駅、八幡駅に停車するジブリパークをイメージしたラッピングトレイン



NHK大河ドラマ「どうする家康」のラッピングトレインの車内



「どうする家康」の舞台の1つである岡崎城（上）岡崎公園内にある「どうする家康 岡崎大河ドラマ館」（下）

に2022年11月にオープンした「ジブリパーク」への利用客を歓迎するため、株式会社スタジオジブリ提供のデザインと、NHK大河ドラマ「どうする家康」のラッピングトレインが走行している。徳川家康役の本松潤さんが描かれたラッピングトレインは遠方からも運転予定の問い合わせが多く寄せられるという。

「“愛環はマイルール”と地域の皆さんに愛着を持っていただける鉄道に」と平田社長が語った。それを物語るのが社員一人ひとりの創意工夫だ。乗務員が手作りの「でんしゃカード」を子どもたちに

手渡したり、受験や卒業シーズンには学生を励ます手作りの装飾が駅構内に施される。また、つばめが駅に巣を作る季節には、巣の下の通路に利用客がふんを避けるための囲いを設けるとともに、つばめが育つ写真を展示して、乗客に理解を求めている。さらに最近では開業35周年を記念して、保線や電力などの仕事を解説するパネルを巡回展示している。

こうした地域に溶け込もうとする地道な活動と、社員の温かい姿勢が利用客にも伝わり、「愛環はマイルール」意識は確実に地域に浸透している。



駅構内に展示されている「どうする家康」のポスター

「どうする家康」のラッピングトレイン



御朱印の鉄道版、鉄印



御朱印の鉄道版である「鉄印」は、2020年に第三セクター一鉄道等協議会に加盟する鉄道会社と関係会社が連携し、沿線地域の振興を目的として「鉄印帳」の販売とともに記帳をスタートした。鉄印帳を購入して、鉄道会社の指定窓口で乗車券の提示と記帳料を支払うと各社のオリジナル「鉄印」がもらえるという仕組み。

愛環も参加し、工夫を凝らしたさまざまな鉄印を開発している。現在、記帳できるのは「通常版」のほか、大河ドラマ「どうする家康」ロゴライセンス商品、天電浜名湖鉄道コラボ「家康公」鉄印、浦野酒造コラボ鉄印、アニメ「シキザクラ」コラボ鉄印、桃太郎電鉄 ver. 鉄印の6種類。記帳できる駅や時間はそれぞれ異なるので、確認が必要だ。

※「鉄印帳」は株式会社旅行読売出版社の登録商標です。

「鉄印帳」のために用意された愛環のさまざまな鉄印（左）乗務員手作りの「でんしゃカード」は子どもたちに大人気（右）

